

◆もっと社会を知り職業観を身に付ける —企業見学研修—

10月19日(月)、キャリア教育支援プログラムの一環として、企業見学研修を実施しました。この研修は、企業の取り組みの実際やさまざまな仕事、働き方などを体験的に学修することにより、学生の社会的関心やキャリア意識を高め、自らの適性や能力について考える機会として、毎年度キャリアデザイン学科1年生を対象に行っています。

今年度は、新千歳空港のオペレーション業務を担う「ANA新千歳空港株式会社」と三井アウトレットパーク札幌北広島を運営する「三井不動産商業マネジメント株式会社」を訪問しました。



ANA新千歳空港株式会社では、会社概要について説明を受けた後、3グループに分かれて、空港内を見学させていただきました。実際に整備、旅客サービス、運航支援の業務を担当している方々に現場まで案内いただき、詳しい業務内容や仕事に対する心構えなどを伺いました。航空機の安全と定時運航を支える各部署の取り組みに学生たちは熱心に耳を傾けていました。

続いて訪れた三井不動産商業マネジメント株式会社では、アウトレットでの流通のしくみやショッピングモールの運営などについて説明を受けた後、アウトレットパーク内の各店舗とバックヤードを見学させていただきました。近年の外国人旅行者の増加に伴い、多言語に対応したフロアマップや館内表示、ピクトグラムによる表示、礼拝室の設置などホスピタリティに富む対応に学生たちは感心していました。



参加した学生からは、「普段は見る事ができないところまで詳しく見せてもらい、また、実際に働いている方に直接お話を伺うことができ将来の進路決定の参考になりました」、「企業活動の現場を体感することができました」、「社員の方々の仕事ぶりに安全、安心へのこだわりが見てとれました」、「これからの就職活動に向けて少し前向きなビジョンを持つことができました」など、今回の企業見学研修を通して、職業理解や就業への意識が高まったとの声が数多く聞かれました。



◆異文化に触れグローバルな視点を養う —海外研修—

本学学生2人が併設校の札幌大学の学生とともに、夏期休業を利用して8月23日から9月9日までの18日間、アメリカのサンディエゴ、ロサンゼルスにおいて語学研修に加え、ホームステイを体験しました。

サンディエゴの語学学校「College of English Language (CEL, San Diego)」では、英会話、英文法、英作文などの授業を受け「英語」を集中的に学修したほか、イタリアやサウジアラビアなどの様々な国から来たクラスメイトとの交流を楽しみました。

また、現地でのホームステイ生活において実践的な英語力を養うとともに、アメリカ社会、文化への理解を深めました。

学生時代に異文化に触れ、自国以外の人々と交流することは、間違いなく視野を広げ、将来への貴重な財産となることが期待できます。本学では、毎年多くの学生が異文化を肌で理解する機会として海外研修に参加しています。

今後は、春期休業期間に中国・惠州学院で研修を実施する予定です。



＝海外研修に参加して＝

・初めての海外、ホームステイ、そして自分の語学力など行く前は不安なことだらけでした。アメリカではバスの乗り方ひとつとっても日本と違うなど、最初はアメリカの文化や習慣に戸惑いもありましたが比較してみるのも楽しかったですし、ホストファミリーに温かく迎えてもらえたおかげで、研修を充実したものにできました。

私は自分から進んで行動したり、挑戦したりするタイプではありませんでしたが、異国の文化や人々に触れる中で、自分から行動を起こさなければ何も始まらない、解決しないことを学びました。今後はさらに語学力を高め、海外で働いてみたいと思っています。

キャリアデザイン学科2年 住吉 野々花

・高校生の頃から外国の言語や文化に興味を持っており、短大生になったら海外で勉強してみたいという気持ちが強くありました。アメリカでの研修は、新しい発見や経験ばかりで、毎日が刺激的でとても楽しく充実していました。

インターナショナルな雰囲気語学学校では、多様な国の人々と英語でコミュニケーションをとることができました。英語力を身に付けただけでなく、異文化への知識を深めることができました。この研修で得た貴重な体験をぜひこれからの学生生活や就職活動に活かしていきたいです。

キャリアデザイン学科1年 菊地 真由